

研究テーマ(当初)

○ 若い世代から見た道州制

〈実施方法〉

- ★APU、大分大学、別府大学などの大学生を対象とした意見交換(1回)
- ★商工会議所・商工会青年部、青年会議所などの若者を対象とした意見交換(1回)

〈研究会での指摘〉

- ★若い世代が道州制をどう思うのかなど、若い世代の人たちとの議論が必要

○ 市町村から見た道州制

〈実施方法〉

- ★市町村長を対象とした意見交換(1回)

〈研究会での指摘〉

- ★大分地域の強みを活かすことが大切
- ★州都を巡る問題、基礎自治体のあり方、自立した住民意識の醸成といった論点に留意すべき

○ 住民から見た道州制

〈実施方法〉

- ★道州制によって影響があると予想される分野(※)から住民代表として選出し、意見交換(2回)

- (※)○サラリーマン・主婦 ○商工業、観光、マスコミ、農林水産業 ○福祉 ○環境
- 医療・保健 ○教育 など

〈研究会での指摘〉

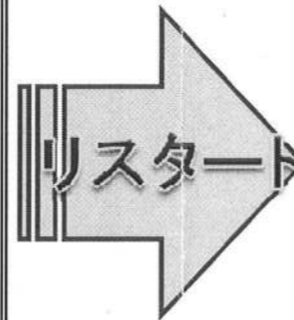
- ★周辺部住民等の声に耳を傾けるべき
- ★大分地域の強みを活かすことが大切
- ★州都を巡る問題、基礎自治体のあり方、自立した住民意識の醸成といった論点に留意すべき

○ 研究会スケジュール

平成21年8月28日 第1回研究会  
・研究会の進め方及び全体スケジュール等

意見交換会(概ね2、3か月に1回、5回程度)  
・道州制についての説明(各界、県研究会報告書等の紹介等)  
・意見交換会(※開催時期は参加者の都合により決定)

平成23年3月 最終回研究会  
・研究会報告書の取りまとめ



I. 研究テーマを幅広く

地域の住民一人ひとりが自ら考え、主体的に行動し、その行動と選択に責任を負う「地域主権」の下での県のあり方について幅広く議論

〈テーマ(例)〉

- 現状認識
- 地域主権が進んだ場合に、どういう備えが必要か
- 地域主権を進めるにあたって、地方は何を国に発信すべきか
- 目指す姿
- 「目指す姿」に向けてどうすべきか

II. 当初どおりに意見交換会を実施

〈対象〉

- ★APU、大分大学、別府大学などの大学生
- ★商工会議所・商工会青年部、青年会議所などの若者
- ★市町村長
- ★住民代表(※以下の分野から選出)  
(※)○サラリーマン・主婦 ○商工業、観光、マスコミ、農林水産業 ○福祉 ○環境  
○医療・保健 ○教育 など

○ 研究会スケジュール(案)

平成21年8月28日 第1回研究会  
・研究会の進め方及び全体スケジュール等

平成22年3月19日 新たにリスタート ⇒ 地方が主役の国づくりに向け、道州制も含め幅広く議論  
・意見交換会(2~3回程度)

平成23年3月 最終回研究会  
・意見等の取りまとめ